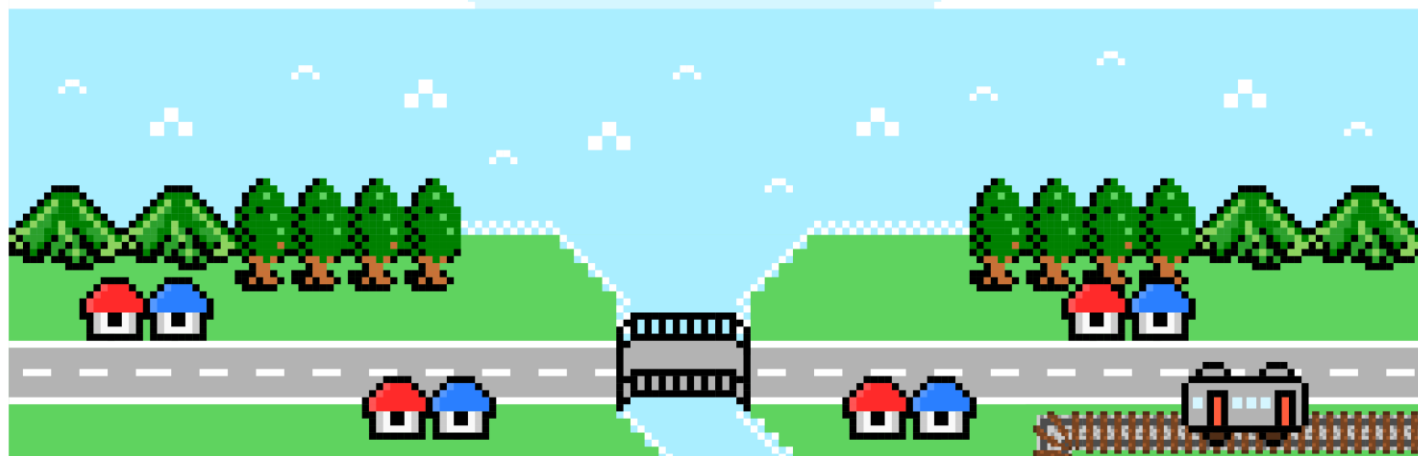


ながよ
いせき
クエスト

～ 長与の遺跡
パンフレット
入門編 ～



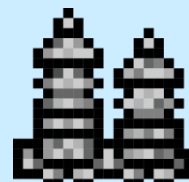
ながよいせきクエスト たび きせき 旅の軌跡

プロローグ	ながよクエストスタート		1
レベル LEVEL 1	どうざきいせき 堂崎遺跡		2
レベル LEVEL 2	てらやしきあごりんとうぐん 寺屋敷跡五輪塔群		4
レベル LEVEL 3	なかおじょうあと 中尾城跡		6
レベル LEVEL 4	ながよさらやまかまあと 長与皿山窯跡、 ながよさんさいかまあと 長与三彩窯跡		8
エピローグ	ながよちようみんぶんか 長与町民文化ホールへ		10
	ながよさんさい 長与三彩の しょうかい 紹介		11
	いせき 遺跡マップ・パンフレットの しょうかい 紹介		12
	ながよ 長与 ちず ドット地図		13





ながよ いせき クエスト



▶ START
CONTINUE

プロローグ

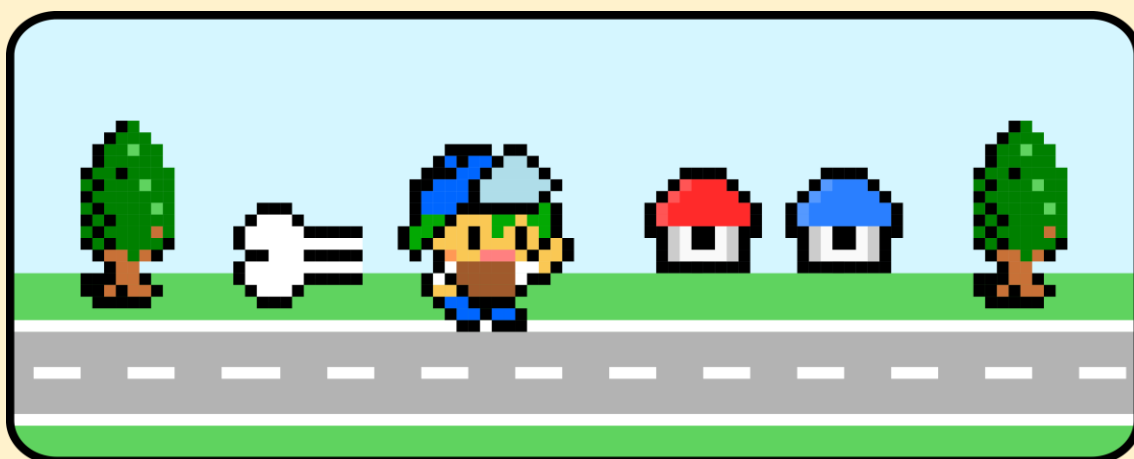
^{ながよちょう}長与町のイメージキャラクターであるナガヨミッくんは、

^{ながよちょうない}長与町内に ^{いろいろ}色々な ^{いせき}遺跡があることを知る。

^{いせき}遺跡について ^し知らなかったミッくんは、

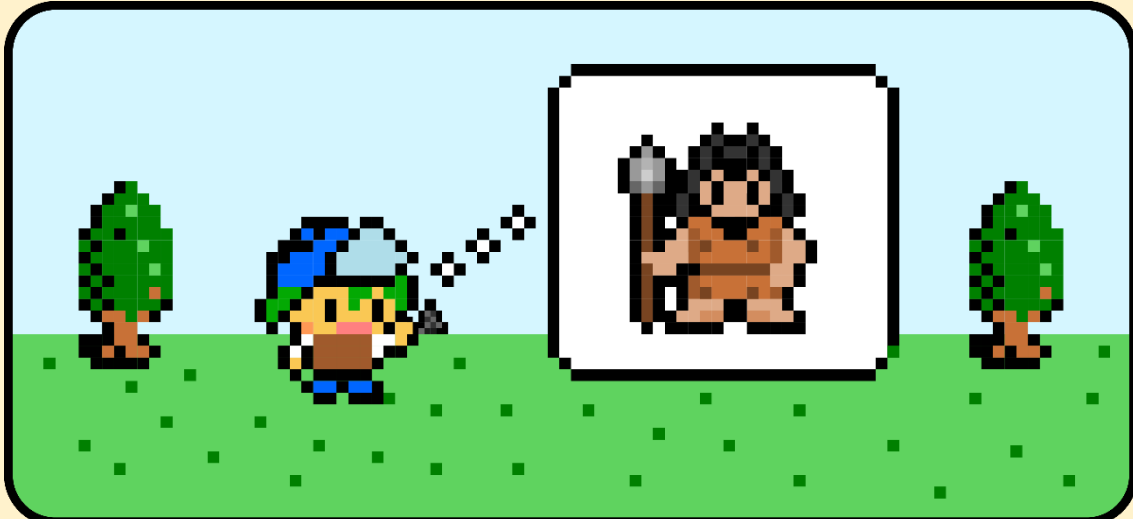
^{じぶん}自分が ^す住んでいる ^{ながよちょう}長与町のことをもっと知るために

^{ながよ}長与を ^{だいひょう}代表する4つの ^{いせき}遺跡 ^{たび}めぐりの ^で旅に出るのであった…



LEVEL 1

どうざきいせき 堂崎遺跡



ミツクンは堂崎遺跡にたどり着いた
黒曜石を見てはるか昔に思いをはせた

堂崎バス停から北に行ったところ、堂崎ノ鼻の辺りが堂崎遺跡だよ。

昭和43(1968)年に多くの遺物が発見されたのをきっかけにして、次の年から発掘調査が行われたんだ。ナイフ形石器や台形様石器、彫器、細石刃などの旧石器のほか、石鏃(石の矢じり)、スクレーパー、石斧、石匙、弥生土器、須恵器などが採集されていて、旧石器時代から古墳時代と長く続いた遺跡であることが分かったんだよ。

▶ ミックンメモ

▼ 町内最古で最大の、旧石器時代から縄文、弥生、古墳時代と長く続いた遺跡だよ。

▼ 旧石器時代の頃には、大村湾には海水はなく大きな盆地だったんだ。堂崎はその盆地を見下ろせる台地で、水も湧き出る格好の狩猟場所だったみたいだね。

○ 旧石器時代

多くの石器が出土していて、おおまかに堂崎Ⅰ（約3万年～2万年前ごろ）と堂崎Ⅱ（約1万8千年前～1万5千年前ごろ）の2つの時期に分けられるよ。

◆ 出土した石器
 〔堂崎Ⅰ〕 台形様石器、ナイフ形石器など
 〔堂崎Ⅱ〕 細石刃、細石核など

○ 縄文時代

細かな時期は特定できないけど、多くの石器が出土しているよ。石鏃（石の矢じり）が最も多くて、縄文時代の終わりごろにみられる打製石斧や、同時期の土器も多く見られるよ。

○ 弥生時代・古墳時代

数は少ないけど弥生土器、須恵器の破片が出土しているよ。

▶ 出土した遺物



▶ アクセス

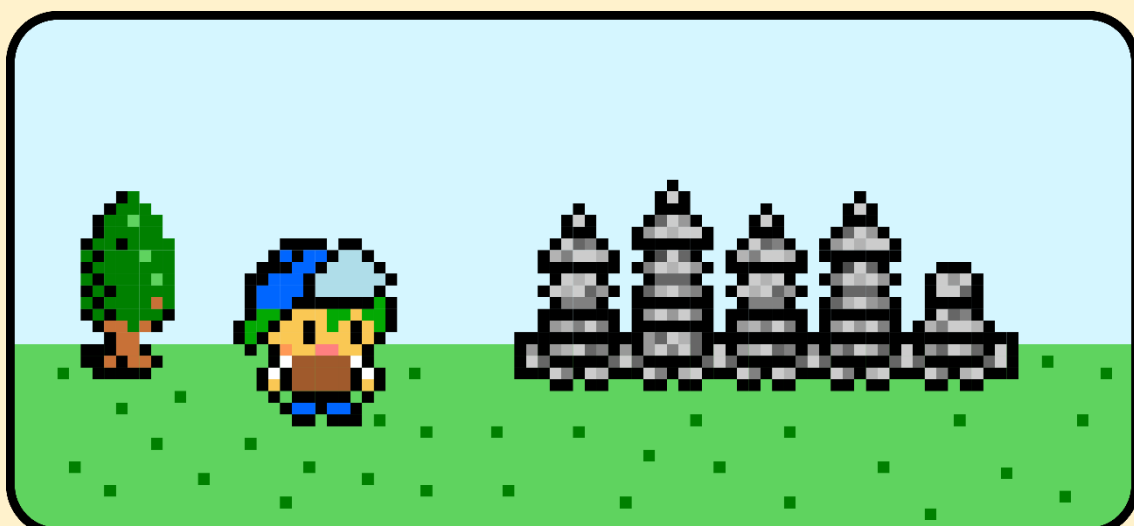
国道207号沿いにある堂崎バス停から北側堂崎ノ鼻周辺の場所になります。遺物が包蔵・散布された場所になっており、目に見える遺跡はありません。保育園横に駐車場あり。

▶ 施設

説明板あり。

LEVEL 2

てらやしきあとりんとうぐん 寺屋敷跡五輪塔群



てらやしきあとりんとうぐん
ミツクンは寺屋敷跡五輪塔群を見つけた
いし ふる れきし かん
石の古さが歴史を感じさせた

ながよちゅうがっこう きた お い ちか
長与中学校から北に降りて行ったところの近くにあるよ。
いま まわ たくち かこ ばしよ いちぶ せいび
今は、周りが宅地に囲まれた場所であって、一部が整備さ
だいしやう き ごりんとう なら
れて大小6基の五輪塔が並べられているよ。
ほ じ ふうか おお
彫ってある字が風化してははっきりしていないけど、『大
むらごうそんき しりやう めいとく てんぶん ねんごう ほ
村郷村記』という資料には明徳や天文の年号が彫ってあると
か むろまちじだい つく かんが
書いてあって、室町時代に作られたものと考えられているよ。
とうじ りやうしゅ ながよし かんけい
そして、これらは当時の領主、長与氏に関係があるものとい
われているんだ。
しょうわ ねん ながさきけんしていぶんかざい しせき
昭和46(1971)年に長崎県指定文化財(史跡)になっ
てい
るよ。

▶ ミックンメモ

▼^{ごりんとう}五輪塔は、^な亡^{ひと}くなった人の^{くよう}供養のためや^{はか}お墓^{つか}として使われていて、「^ち地・^{すい}水・^か火・^{ふう}風・^{くう}空」を表^{あらわ}す^{かたち}形^{ちが}が違う5つの^{いし}石^{つく}で作られているよ。

▼^{だいしょう}大小^き6基^{ごりんとう}の五輪塔^{ごりん}(五輪がそろ

っていないものもあるよ)が^{なら}並べられているよ。

※^{さんらん}散乱^{ちりん}している^き地輪^こから30基^{ごりんとう}を超す五輪塔があつたんじゃないかと^{すいそく}推測されているよ。

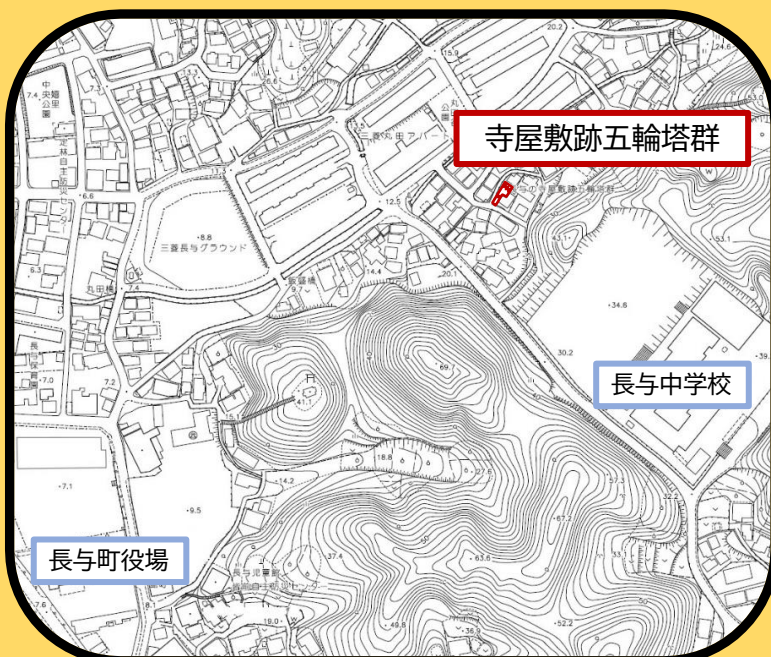
▼^{ごりんとう}五輪塔には、^{めいとく}明徳・^{えいきよう}永亨・^{ほうとく}宝徳・^{かんしょう}寛正・^{めいおう}明応・^{てんぶん}天文の^{ねんごう}年号^{きざ}が刻ま^{むろまちじだい}れていて、^{こんりゅう}室町時代に^{ねん}建^{せきとう}立^もされたものとみられているよ。

▼^{めいとくにねん}「明徳二年」(1391年)と^{ねん}刻ま^{せきとう}れている^も石塔^じの^{げんざいかくにん}文字は、^{なか}現在^{ながよ}確認^{のこ}されている^{さいこ}中で^も長^じ与^きに残る^{やく}最古^{せいきはん}の^{ねん}文字^{なが}だよ。

▼^{せきとう}ま^よと^とま^じって^き石塔^{やく}があ^{せいきはん}って、^{ねん}読み^{なが}取^きれる^{ちいき}時期^{とうじ}が^{りょうしゅ}約1世紀半(150年)の^{ながよし}長い^{かんけい}期間^{かんけい}に^{かんけい}わたるから、この^{かんけい}地域^{かんけい}を^{かんけい}治^{かんけい}めていた^{かんけい}当時の^{かんけい}領主^{かんけい}長与氏^{かんけい}に^{かんけい}関係^{かんけい}のあるものじゃないかとみられているよ。



てらやしきあごりんとうぐん
寺屋敷跡五輪塔群



▶ アクセス

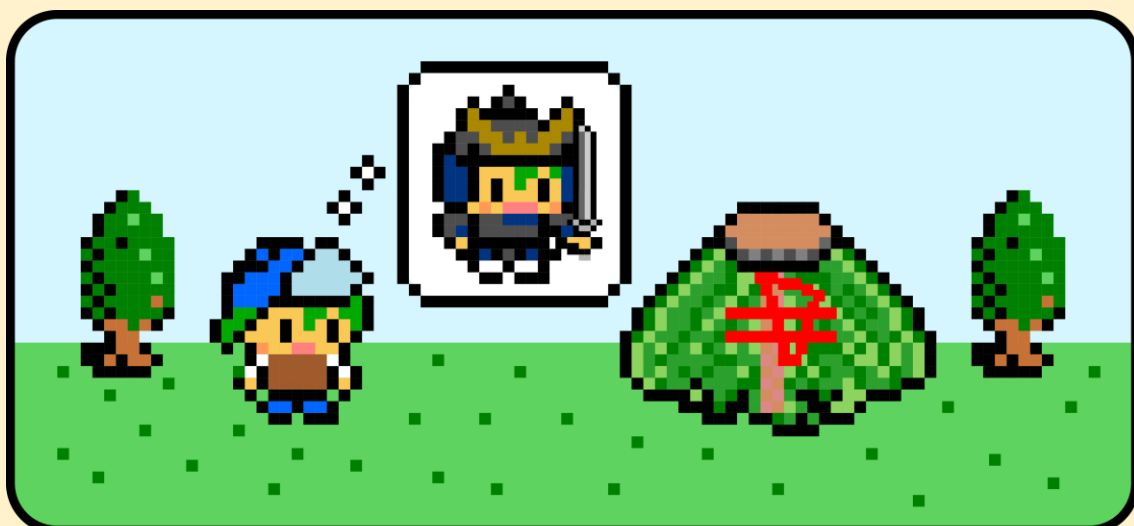
長与町役場から北東方面へ徒歩5分、長与中学校から北西方面へ坂を下った近く徒歩5分ほどの場所にあります。駐車場はありません。

▶ 施設

説明板あり。

LEVEL 3

なか おじょうあと
中尾城跡



なか おじょうあと つ
ミックンは中尾城跡にたどり着いた
ぶしょう じぶん おも う
武将になった自分を思い浮かべた

だい き ぼ がんじょう こうぞう どるい まも つよ しろ
大規模で頑丈な構造の土塁があるなど守りが強い城だったんだよ。

じょうない せいかつ あと な が よい たい
でも城内で生活した跡は見られないんだよね。長与一帯で
まんいち ばあい そうてい ひじょうじ そな
万一のことがあった場合を想定して、非常時に備えることを
もくてき まえ た しろ み
目的に前もって建てられた城じゃないかで見られているよ。
じっさい ひじょうじ たい お
実際に非常事態は起こらなかったみたいだね。

いま どるい のこ
今でも、土塁などが残っているよ。

▶ ミックンメモ

▼ ^{なか おじょうこうえんない}中尾城公園内の^{ひょうこう}標高^{めーとる}90 m
^{たかだい}ほどの高台にあって、^{じょういき}城域は東^{とう}
^{ざいやく}西約150 m、^{めーとる}南北約50 m
^{どるい}ほどで土塁などが残っているよ。

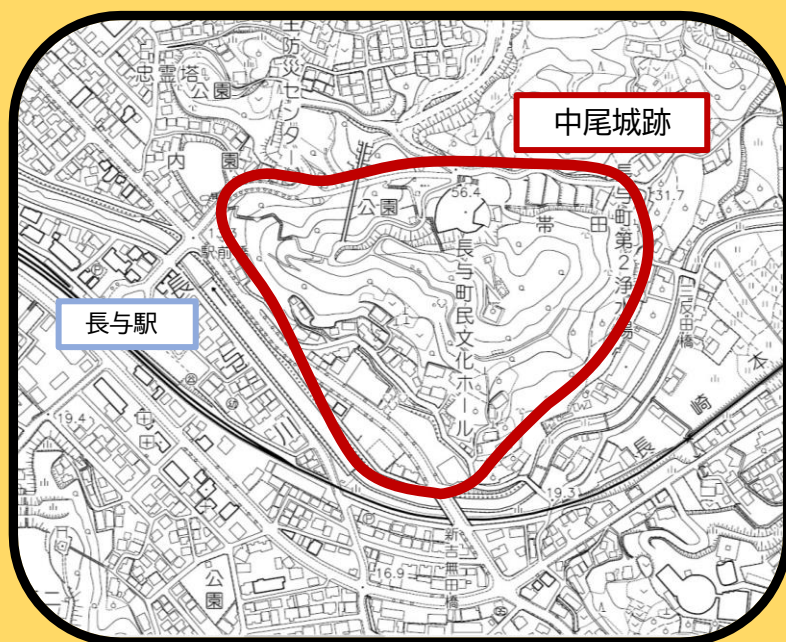
▼ 『^{おおむらごうそんき}大村郷村記』によると^{てんぶん}天文のこ
^{ながよごんのすけ}ろ(1532年~1555年)に^{きず}長与権之助が築いたとされて
いるよ。

▼ ^{なか おじょう}中尾城の^{どるい}土塁は、^{ていめん}底面の^{はば}幅が^{めーとる}4 m ほど、^{たか}高さ^{めーとる}2 m ほど、^{なが}長さ
^{めーとるいじょう}が50 m 以上もある大きなもので、^{おお}土の^{つち}層が^{そう}丁寧^{ていねい}に^したたき締め
^{かた}られていて、とても^{つく}堅い造りになっているよ。

▼ ^{ちゅうせい}中世の^{ながよ}長与を^{かんが}考える上で^{うえ}重要な^{じゅうよう}文化財とされていて、^{ぶんかざい}平成1
^{ねん}0(1998)年に^{ながよちょうしていぶんかざい}長与町指定文化財(史跡)^{しせき}になったよ。



^{なか おじょうあと}中尾城跡(写真^{しゃしん}は土塁^{どるい}跡)



▶ アクセス

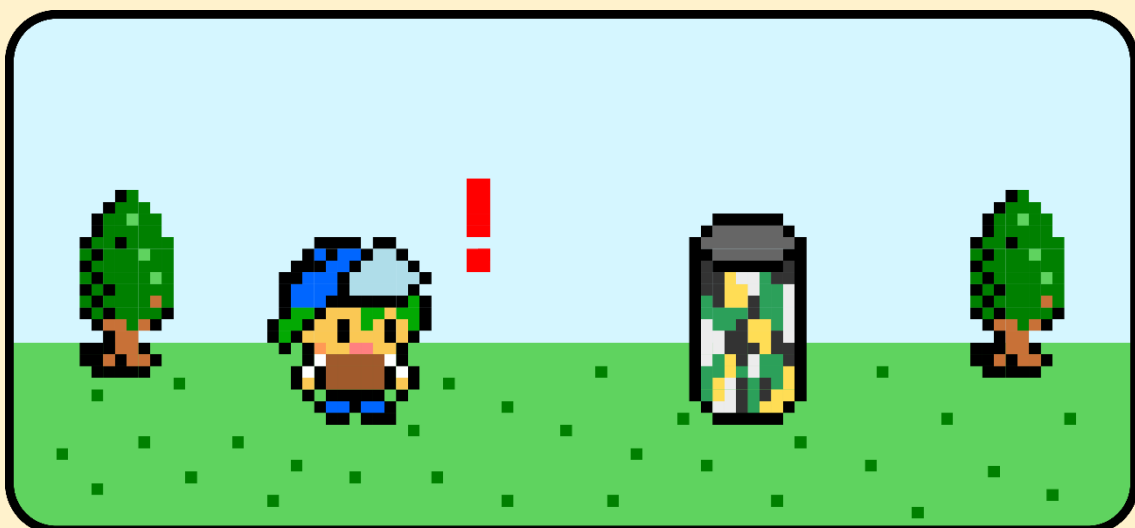
JR 長与駅から徒歩15分ほどの
場所にあります。
中尾城公園の駐車場がご利用い
ただけます。

▶ 施設

説明板あり。
遺跡の範囲は左記の赤線部で
すが、実際に土塁等がご覧いた
だけるのは、中尾城公園頂上付
近になります。

LEVEL 4

ながよさらやまかまあと　ながよさんさいかまあと
長与皿山窯跡、長与三彩窯跡



せい き だいはっけん
世紀の大発見？

ミクンは まぼろし な が よ さん さい み の 長 与 三 彩 を 見 つ け た !

ながよさらやまかまあと え どじだい ながよやき や もの たいりょう
長与皿山窯跡は、江戸時代に長与焼という焼き物を、大量
せいさん かま あと かま だんだんばたけ
生産していた窯の跡だよ。この窯は段々 畑 のようになっている
のぼ がま ぜんちょう やく めーとる や もの や しょうせいしつ
る登り窯で、全長が約115 m、焼き物を焼いた焼成室の
かず しつ すいそく だい き ぼ
数がおおよそ25室もあると推測される大規模なものなんだ。

ながよさんさいかまあと まぼろし や もの い ながよさんさい や
長与三彩窯跡は、幻の焼き物と言われる長与三彩が焼か
れていた窯跡があったのではと 考えられている場所だよ。平
せい ねん がつ はくつちようさ ながよさんさい
成17(2006)年3月に行った発掘調査では、長与三彩の
しっぱいひん しゅつど しっぱいひん
失敗品が出土したんだ。失敗品というところがポイントで、
しっぱい しなもの せいさんち で ながよ
失敗した品物は、生産地でしか出てこないものだから、長与
さんさい ながよ つく かもうせい たか
三彩はここ長与で作られた可能性が高まったんだよ。

▶ ミックンメモ

▼^{ながよちょううれりごう た お ぜんちょうやく}長与町嬉里郷田尾に、全長約11
^{めーとる きょだい のぼ がまあと な がよ}5 m の巨大な登り窯跡（長与
^{さらやまかまあと のこ}皿山窯跡）が残っているよ。

▼^{ながよ や もの かんぶん}長与の焼き物は寛文7(1667)

^{ねん はじ や もの つく}年に始まって、焼き物を作るのを
^{や し き}止めていた時期もあったけど、

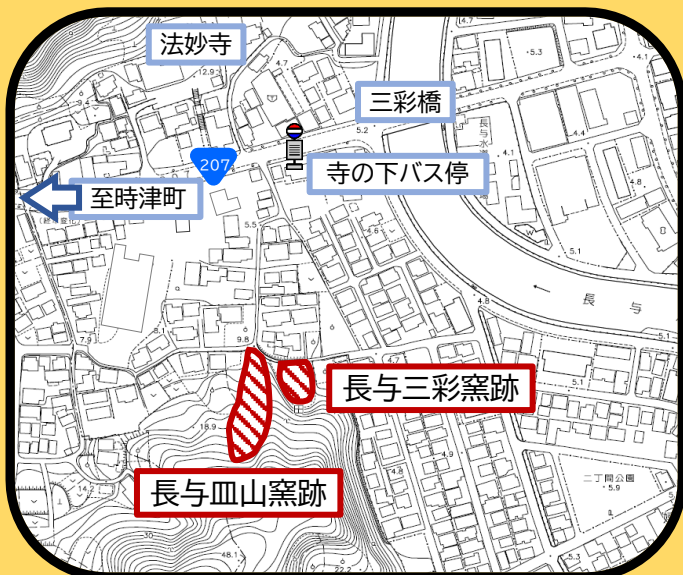
^{え ど じ だ い だ い き だ い き}江戸時代に第1期から第3期の3つの期間で作られていたことが
^わ分かっているよ。

▼^{ながよやき ふだんづか し き}長与焼は普段使いの磁器で、^{ながさき ちゅうしん ぜんこく しゅつか}長崎を中心に全国に出荷されていた
よ。「くらわんか碗」(^{わん おおさか よどがわ さけ た もの う こぶね}大阪の淀川でお酒や食べ物を売っていた小舟
^{つか うつわ りょう かわぞこ な がよやき はっけん}が使っていた器)としても利用されていて、川底から長与焼が発見
^{とお しゅつか}されているよ。遠くまで出荷されていたんだね！

▼^{おおむらごうそんき なか いちじろう じんぶつ めずら や もの や}『大村郷村記』の中に、「市次郎という人物が、珍しい焼き物を焼
^かいた」と書いてあって、これが長与三彩のことだと考^{ながよさんさい かんが}えられている
よ。ただ、^{ながよさんさい かず すく つく ねんだい せいほう わ}長与三彩は数が少なく、作られた年代やその製法が分か
^{まぼろし}っていないことなどから、^{ながよさんさい よ}幻の長与三彩と呼ばれているよ。長与
^{さんさい し き さんさい いろあざ はっしょく ひょうか たか}三彩は磁器の三彩で、色鮮やかな発色で評価が高いんだよ。



^{ながよさらやまかまあと}
長与皿山窯跡



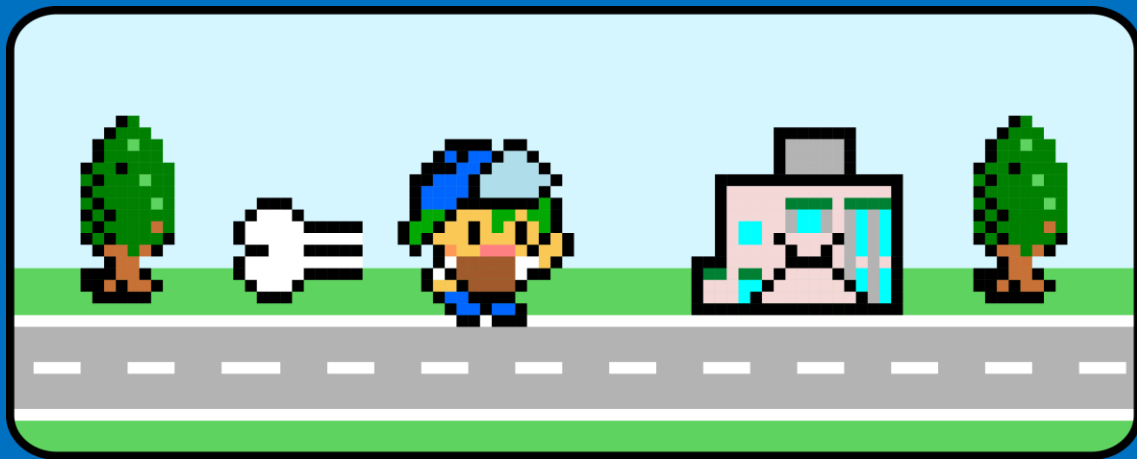
▶ アクセス

国道207号沿いにある寺の下バス停から南、徒歩4分の場所にあります。
駐車場はありません。
※長与三彩窯跡は立入禁止。

▶ 施設

説明板あり。

エピソード



ミックンは、最後に^{さいご}長与町^{ながよちょう}民文化ホール^{みんぶんか}にたどり着^つく。

ここに^{ながよさんさい}長与三彩^{てんじ}が展示^きされていると聞いたのだ。



▶ アクセス

JR 長与駅から徒歩15分ほどの場所にあります。
駐車場あり。

※文化ホールでイベントが行われる時には駐車場が込み合いますので、ご注意ください。

ながよさんさい しょうかい
▶ 長与三彩の紹介



ながよさんさいつつがたはないけ
▶ 長与三彩筒型花生



ながよさんさいちゃつぽ
▶ 長与三彩茶壺

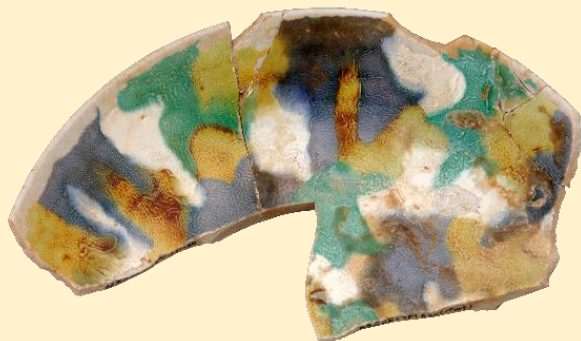


ながよさんさいりょうろ
▶ 長与三彩涼炉



ながよさんさいこうろ
▶ 長与三彩香炉

ながよちょうみんぶんか かいてんじ ちょう しょう ながよさんさい てんじ
長与町民文化ホールの2階展示ホールに、町が所有する長与三彩が展示
されているよ。ながよさんさい げんぞんすう すく きちょう へいせい
長与三彩は現存数が少なくかなり貴重なものなんだよ。平成
17(2006)年(ねん)のはつくつちようさ しゅつど ながよさんさい ひらざらはへん てんじ
の発掘調査で出土した長与三彩の平皿破片も展示されてい
るから、ぜひ見(み)にき(き)に来てね。



ながよさんさいひらざらはへん
▶ 長与三彩平皿破片



ながよさんさいひらざらはへん
▶ 長与三彩平皿破片を
けんしゅつ ようす
検出している様子

▶ いせき しょうかい 遺跡マップ・パンフレットの紹介

ながよちょうやくば かい しょうがいがくしゅうか
長与町役場2階にある生涯学習課で、このパンフレットのほかに
「ながよ いせき ながよ いせき ながよ いせき
遺跡マップ」「長与遺跡録～長与の遺跡パンフレット～」
はいふ
を配布しているよ。
たくさんの遺跡の場所が分かるから、興味がある人は見てみてね。
ながよちょう けいさい
長与町ホームページにも掲載されているよ。

▶ いせき ながよ遺跡マップ



▶ おもて
表にはイラスト
ち ず いちぶ
ト地図と一部
いせき かいせつ
の遺跡の解説
があつて、うら
には遺跡地図
いせき いちらん
と遺跡の一覧
があるよ。

▶ ながよ いせき しょうかい 長与遺跡録 ～長与の遺跡パンフレット～



▶ ながよちょうない いせき
長与町内の遺跡を
しょうかい
紹介しているパンフ
レットだよ。
こんかいしょうかい
今回紹介している
いせき いろいろ
遺跡のほかに色々な
いせき
遺跡があるからぜひ
み
見てみてね。

ながよ ちず
▶ 長与ドット地図

※ドットなのでおおまかな
ちず
地図だよ。

▶ 堂崎遺跡

▶ 寺屋敷跡
五輪塔群

▶ 長与皿山窯跡
長与三彩窯跡

▶ 中尾城跡



ちょうない いせき すこ
町内にある遺跡のことが少しわかったかな？

こんかいしょうかい いせき
今回紹介した4つの遺跡のほかにも

いろいろな遺跡があるから、調べてみてね。

め ざ
目指せ！いせきマスター！！



ちゅう い
注 意

○遺跡には、足元が危なく、イノシシやサルなどの野生動物に
で あ ばしよ きけん ばしよ ぜったい い
出会うような場所があります。危険な場所へは絶対に行かない
ようにしましょう。

○個人の土地の中にある遺跡には、許可を得ないまま、むやみに
はい
入らないでください。

○遺物を見つけても持って帰らないでください。遺物を勝手に持
て 帰ったり、遺跡を壊した時は罰せられることがあります。